



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ

上場取引所 東

コード番号 7483 URL <http://www.doshisha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 正治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (氏名) 藤本 利博
(財務経理 兼 貿易業務担当)

TEL 06-6121-5669

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	83,994	5.2	6,404	△0.9	6,628	△1.6	3,876	△5.5
25年3月期第3四半期	79,819	△3.7	6,463	△16.6	6,733	△12.8	4,101	△8.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,560百万円 (5.1%) 25年3月期第3四半期 4,340百万円 (△3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	103.95	—
25年3月期第3四半期	110.24	—

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	65,885	53,360	79.5	1,404.94
25年3月期	61,560	49,884	79.9	1,319.41

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 52,391百万円 25年3月期 49,202百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	—	30.00	60.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	5.8	7,300	8.0	7,400	0.1	4,400	△2.0	117.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	37,375,636 株	25年3月期	37,375,636 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	84,376 株	25年3月期	84,334 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	37,291,292 株	25年3月期3Q	37,205,812 株

(注) 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による金融緩和策や円高是正策等をはじめとしたアベノミクス効果による円安及び株高を背景に、緩やかな回復基調が見られました。しかしながら個人消費につきましては、個人所得の低迷から節約志向・低価格志向が続く中、加えて本年4月より実施される消費税増税に伴う実質所得の減少等の懸念材料もあることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。また当社を取り巻く経営環境につきましても、円安進行による輸入材料・製品の価格高騰等に加えて、天候不順の影響により季節商品の販売が低調に推移するなど非常に厳しい環境で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループでは上半期に引き続き「既存得意先との取り組み強化」及び「新たな販路の開拓」「顧客ニーズに応じた新商品のスピード開発」「経費削減プロジェクトの推進」に取り組んでまいりました。売上面においては前年を上回ったものの、利益面では円安進行により開発型ビジネスモデルにおける原材料価格の高騰及び海外仕入商品の仕入価格の上昇分を補いきれず、前年同期を下回り減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高83,994百万円(前年同期比105.2%)、売上総利益19,677百万円(前年同期比99.0%)、営業利益6,404百万円(前年同期比99.1%)、経常利益6,628百万円(前年同期比98.4%)、四半期純利益3,876百万円(前年同期比94.5%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」におきましては、節約志向が強い中、冬の内食用シリーズとしてハウスウェア関連では調理家電の時短且つ簡単操作で出来るスープメーカー、その関連商材として新たにスープ用カップを拡充した温冷両用の保温機能付きステンレス製タンブラーなどの販売が好調に推移いたしました。家電関連では、“他にはない”をテーマにした乗型などのハイデザイン加湿器や新たに発売した“電気を一切使わない紙の加湿器”の販売が好調に推移いたしました。多数の大手メーカーが市場参入しているLED照明関連では、昨年末より大手得意先へのOEM受託生産を行っていることに加え、値ごろ感のある高品質シーリングライトの販売が好調に推移いたしました。また家具・収納関連では、リニューアルを行った主力のスチールラックと今期より新たに展開した布製小型収納ボックスの販売が好調に推移したことにより、販路も主力のホームセンター業態だけでなく、ホームファッション業態への取引も拡大しました。その他、A&V関連やシューズ関連、100円・300円均一商材においても第2四半期に引き続き販売が好調に推移しました。しかしながらアパレル関連においては、猛暑の天候が長引いたことにより秋冬商戦がセーブされ販売が低調に推移いたしました。またヘルス&ビューティ関連、食品関連においても販売が伸びず、低調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は41,264百万円(前年同期比104.0%)、セグメント利益は2,616百万円(前年同期比73.8%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」におきましては、時計やバッグなどの有名ブランド関連では、市場の景気回復の期待感による高額商品需要の高まりから、高級時計の販売が好調に推移しました。それら以外のカジュアル時計やバッグ関連においてもカテゴリーやブランドをミックスして新たな売場を創出したことにより、販売が好調に推移いたしました。また輸入雑貨関連でも、独占販売を行っている世界的に有名な「ハワイアナス」などの海外メーカーサンダルの販売が好調に推移いたしました。ギフト関連では、中元・歳暮ギフトの販売が堅調に推移し、仏事・返礼ギフトにおいては販売が好調に推移いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は39,823百万円(前年同期比105.0%)、セグメント利益は3,613百万円(前年同期比117.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は51,391百万円となり、前連結会計年度末(47,521百万円)に比べ3,869百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金8,228百万円の増加及び現金及び預金5,540百万円の減少によるものであります。固定資産は14,494百万円となり、前連結会計年度末(14,038百万円)に比べ456百万円増加いたしました。これは主に、長期貸付金243百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、65,885百万円となり、前連結会計年度末(61,560百万円)に比べ4,325百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,206百万円となり、前連結会計年度末(8,493百万円)に比べ713百万円増加いたしました。これは主に、買掛金303百万円の増加によるものであります。固定負債は3,318百万円となり、前連結会計年度末(3,182百万円)に比べ135百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、12,524百万円となり、前連結会計年度末(11,675百万円)に比べ849百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は53,360百万円となり、前連結会計年度末(49,884百万円)に比べ3,476百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益3,876百万円及び剰余金の配当1,118百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、79.5%(前連結会計年度末は79.9%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は18,124百万円となり、前連結会計年度末より5,540百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は3,832百万円(前年同期は4,517百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6,406百万円による増加及び売上債権の増加額8,254百万円、法人税等の支払額2,578百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は541百万円(前年同期は279百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出170百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,244百万円(前年同期は99百万円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1,173百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,665,244	18,124,371
受取手形及び売掛金	15,472,753	23,701,678
商品及び製品	7,220,445	7,937,586
短期貸付金	128,904	11,118
その他	1,037,555	1,628,119
貸倒引当金	△2,922	△11,559
流動資産合計	47,521,982	51,391,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,870,100	7,983,338
減価償却累計額	△3,257,735	△3,469,158
建物及び構築物（純額）	4,612,364	4,514,180
土地	6,588,471	6,588,471
その他	1,588,860	1,829,994
減価償却累計額	△1,043,787	△1,195,331
その他（純額）	545,072	634,662
有形固定資産合計	11,745,908	11,737,314
無形固定資産		
投資その他の資産	141,107	168,051
投資有価証券	1,364,934	1,256,110
長期貸付金	5,262	248,470
その他	972,817	1,366,469
貸倒引当金	△191,602	△281,901
投資その他の資産合計	2,151,412	2,589,148
固定資産合計	14,038,428	14,494,515
資産合計	61,560,410	65,885,830
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,098,076	5,401,743
1年内返済予定の長期借入金	5,500	5,500
未払法人税等	1,629,838	1,474,047
役員賞与引当金	59,500	47,270
賞与引当金	40,546	31,530
その他	1,659,692	2,246,434
流動負債合計	8,493,153	9,206,526
固定負債		
社債	2,500,000	2,500,000
長期借入金	203,500	198,000
退職給付引当金	137,829	160,409
資産除去債務	53,837	54,550
その他	287,552	405,454
固定負債合計	3,182,719	3,318,413
負債合計	11,675,872	12,524,940

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993,003	4,993,003
資本剰余金	6,043,780	6,043,815
利益剰余金	38,051,157	40,808,694
自己株式	△79,856	△79,943
株主資本合計	49,008,085	51,765,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,140	51,991
繰延ヘッジ損益	80,925	423,979
為替換算調整勘定	39,218	150,269
その他の包括利益累計額合計	194,285	626,240
新株予約権	37,696	36,735
少数株主持分	644,470	932,345
純資産合計	49,884,538	53,360,890
負債純資産合計	61,560,410	65,885,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	79,819,785	83,994,126
売上原価	59,934,003	64,316,617
売上総利益	19,885,781	19,677,508
販売費及び一般管理費	13,422,391	13,273,064
営業利益	6,463,390	6,404,444
営業外収益		
受取利息	3,009	4,795
受取配当金	28,730	12,715
債務勘定整理益	33,387	9,104
受取家賃	11,457	11,537
為替差益	197,517	109,482
保険解約返戻金	—	29,420
その他	71,665	91,076
営業外収益合計	345,768	268,131
営業外費用		
支払利息	12,636	11,225
支払手数料	13,491	13,504
貸倒引当金繰入額	21,784	—
固定資産除却損	—	7,776
支払補償費	15,235	—
その他	12,766	11,859
営業外費用合計	75,913	44,365
経常利益	6,733,246	6,628,210
特別利益		
新株予約権戻入益	509	961
特別利益合計	509	961
特別損失		
関係会社株式評価損	—	102,666
関係会社株式売却損	—	21,942
貸倒引当金繰入額	—	97,979
特別損失合計	—	222,589
税金等調整前四半期純利益	6,733,755	6,406,582
法人税、住民税及び事業税	2,478,935	2,432,435
法人税等調整額	69,472	△69,652
法人税等合計	2,548,407	2,362,782
少数株主損益調整前四半期純利益	4,185,347	4,043,799
少数株主利益	83,793	167,523
四半期純利益	4,101,553	3,876,275

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,185,347	4,043,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,001	△22,149
繰延ヘッジ損益	46,506	343,053
為替換算調整勘定	76,739	196,248
その他の包括利益合計	155,248	517,152
四半期包括利益	4,340,596	4,560,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,226,011	4,308,230
少数株主に係る四半期包括利益	114,584	252,721

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,733,755	6,406,582
減価償却費	358,743	371,886
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,641	△12,230
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,123	△9,016
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,805	98,936
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,064	22,579
受取利息及び受取配当金	△31,739	△17,510
支払利息	12,636	11,225
関係会社株式評価損	—	102,666
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	21,942
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,233,155	△8,254,038
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,569,800	△695,180
仕入債務の増減額 (△は減少)	780,504	296,939
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△465,886	65,581
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△225,344	△51,460
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	444,549	388,141
その他	△22,896	△3,566
小計	△1,226,527	△1,256,521
利息及び配当金の受取額	31,446	17,614
利息の支払額	△19,176	△14,541
法人税等の支払額	△3,303,670	△2,578,714
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,517,928	△3,832,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△300,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△204,341	△170,191
無形固定資産の取得による支出	—	△1,577
投資有価証券の取得による支出	△11,736	△12,547
関係会社株式の取得による支出	△45,000	—
関係会社株式の売却による収入	—	56,576
貸付けによる支出	△1,200	△134,104
貸付金の回収による収入	11,399	8,682
その他の支出	△30,193	△290,029
その他の収入	2,024	1,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,048	△541,194
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,500	△5,500
自己株式の処分による収入	270,703	82
自己株式の取得による支出	△1,017	△135
リース債務の返済による支出	△50,832	△65,377
配当金の支払額	△1,113,434	△1,116,743
少数株主への配当金の支払額	—	△56,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,919	△1,244,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,214	76,543
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,662,843	△5,540,873
現金及び現金同等物の期首残高	20,526,288	23,665,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,863,444	18,124,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,687,125	37,941,486	77,628,611	2,191,173	79,819,785	—	79,819,785
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	6,233,229	6,233,229	△6,233,229	—
計	39,687,125	37,941,486	77,628,611	8,424,403	86,053,015	△6,233,229	79,819,785
セグメント利益	3,544,742	3,069,315	6,614,057	360,294	6,974,352	△510,962	6,463,390

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△510,962千円の内訳は、セグメント間取引の消去△67,159千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,100千円及びその他調整額△298,701千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,264,706	39,823,476	81,088,183	2,905,943	83,994,126	—	83,994,126
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	6,382,113	6,382,113	△6,382,113	—
計	41,264,706	39,823,476	81,088,183	9,288,056	90,376,239	△6,382,113	83,994,126
セグメント利益	2,616,102	3,613,166	6,229,268	583,053	6,812,321	△407,877	6,404,444

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△407,877千円の内訳は、セグメント間取引の消去21,756千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,975千円及びその他調整額△244,657千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間に、社内の管理手法の変更に伴い、卸売型ビジネスモデルに区分し測定していた一部の売上高及び利益を開発型ビジネスモデルへ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。